



“宇都宮市立一条中学校だより”

燃える闘魂 輝く一条

令和2年12月25日
第6号
学校長 初谷憲一

1学年冒険活動教室

12月1日、1年生は「自然を学ぶ 仲間と学ぶ 絆深まる冒険教室」をスローガンに掲げ、日帰りでの冒険活動教室に出かけました。「もっと遠くまで登山したかったよ〜。」「泊まっていきたいなあ。」など、エネルギーを持って余している生徒もたくさんおりましたが、大自然の中で友人と協力し合いながら、充実した時間を過ごすことができました。コロナ禍で厳しい状況が続いておりますが、活動ができた喜びを味わいながら、自分自身の成長につなげてほしいですね。



体育祭ができなかったから・・・

5月に予定していた体育祭は開催できませんでしたが、その代替行事として、小規模ではありますが、学年ごとに学級対抗スポーツ大会を開催することができました。怪我をしないように生徒たちが独自にルールを作るなどして、思いやりにあふれた笑顔いっぱい楽しい時間となりました。



授業の腕を磨きます

コロナ禍であっても、我々教員は研修に励まねばなりません。全教員が授業を公開し、教科にこだわらず互いに参観し合い、自らの授業力向上に役立てております。また、数学科、道徳科では市教委から指導者を呼び、たくさんの教員が参加して授業研究会を行いました。教員も生徒に負けぬように頑張っています。



菅野教諭 宇都宮市大人の行動コンクール 最優秀賞

本校の菅野裕之教諭の作品が、本年度『宇都宮市大人の行動コンクール』で、大人の部 最優秀賞に輝きました。大人の行動規範となる「ことわざ」にまつわる「ちょっといい話」を紹介したもので、以下に全文を掲載いたします。我々大人は、常に子どもたちの手本となるよう、自分以外の人や事象から学び自らを高めようとする姿勢を持ち続けたいですね。

大人の部 菅野 裕之

言葉「我以外皆我師也」

題名「まねっこ大作戦」

数年前のことです。所用でバスに乗る機会があったのですが、夕方ということもあり学生が多く、車内は少々混み合っていました。私の待つ停留所には、私と年配の女性が一人いましたが、幸いなことに二・三席空いていたので、私は特に迷うことなく乗り口から最寄りの席に座りました。バスが走り出し、ふと顔をあげると、意外な光景が目に入りました。自分より後方の空いている座席に座ると思われていた女性が、自分よりも前方の座席に座っていたのです。そしてその近くには席を譲ったと思われる男子高校生の立ち姿。「後ろでもよかったのに悪いね」と声をかける女性に対し、彼はこう答えていました。「後ろはうちの学校の騒がしい奴らが多いから、こっちの方がいいですよ」と。その心遣いに私は大変感動しました。私たちが感じる「良さ」は大人だからわかる、子供にはまだわからないものではないのです。今回のこの心遣いのように老若男女問わず学ぶべき姿はそこかしこにあるのだということに気づかされました。この出来事以来、私は私の周りの人たちのいいところをどんどん探し、どんどんまねていく「まねっこ大作戦」を実施しています。職場の先輩からは、効率のいい仕事のやり方をまねっこ、後輩からはフレッシュな考え方をまねっこ、縁あって地域の子供たちを相手に柔道教室を開催しているのですが、子供たちへの言葉かけのしかたは、保護者の方々の優しい言葉遣いをまねっこさせてもらっています。最近では、柔道教室に通う生徒たちが、私とそっくりの口調で年下の子に教えている姿があり「まねっこ大作戦」は人から人へつながっていくことにも気が付きました。「我以外皆我師也」多くの人たちと接しながら絶えず学び続けられるよう、私の「まねっこ大作戦」はこれからも続いていくのです。

【お知らせ】

- ◇信頼される学校づくりの取組として、教職員の体罰等の不適切な指導について、保護者の皆様からのご相談がありましたら、1月の三者懇談の折に担任または管理職にお聞かせください。
- ◇授業の再開は、令和3年1月8日（金）からとなります。
- ◇学校だよりカラー版は一条中HPでご覧いただけます。「日誌」も随時更新しております!!